



2023年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月12日

上場会社名 セントラル警備保障株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9740 URL https://www.we-are-csp.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役執行役員社長 (氏名)澤本 尚志
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経理部長 (氏名)遠藤 武彦 (TEL) (03)3344-1711
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年2月期第3四半期の連結業績(2022年3月1日~2022年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年2月期第3四半期 | 47,830 | △6.2 | 2,924 | △27.2 | 3,163 | △24.6 | 1,797 | △34.0 |
| 2022年2月期第3四半期 | 50,975 | 1.2 | 4,013 | 6.5 | 4,195 | 5.4 | 2,721 | 9.4 |

(注) 包括利益 2023年2月期第3四半期 1,913百万円 (32.8%) 2022年2月期第3四半期 1,440百万円 (△49.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | |
|---------------|-----------------|---|----------------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 2023年2月期第3四半期 | 123.21 | — | — | — |
| 2022年2月期第3四半期 | 186.54 | — | — | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|---------------|--------|------|--------|------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年2月期第3四半期 | 58,321 | 55.2 | 34,501 | 55.2 | — | — |
| 2022年2月期 | 59,792 | 52.2 | 33,432 | 52.2 | — | — |

(参考) 自己資本 2023年2月期第3四半期 32,170百万円 2022年2月期 31,189百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|----|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 2022年2月期 | — | 23.00 | — | 25.00 | — | 48.00 |
| 2023年2月期 | — | 25.00 | — | — | — | — |
| 2023年2月期(予想) | — | — | — | 25.00 | — | 50.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年2月期の連結業績予想(2022年3月1日~2023年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|----------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 66,000 | △4.4 | 4,000 | △22.7 | 4,300 | △23.8 | 2,700 | △26.4 | 185.06 | — |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2023年2月期3Q | 14,816,692株 | 2022年2月期 | 14,816,692株 |
| 2023年2月期3Q | 226,520株 | 2022年2月期 | 226,309株 |
| 2023年2月期3Q | 14,590,264株 | 2022年2月期3Q | 14,589,891株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、取締役向け株式報酬制度の導入による株式交付信託が保有する当社株式が含まれています

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が徐々に緩和される中で、持ち直しの動きがみられたものの、ウクライナ情勢の長期化や円安の影響に伴う物価高騰など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

警備業界におきましても、同感染症による影響が徐々に緩和されつつあるものの、警備員の感染による警備サービスの提供停止あるいは規模の縮小は、お客さまに多大な影響を及ぼすため、徹底した感染予防と拡大防止の対応を継続しており、引き続き厳しい事業環境下に置かれております。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画「Creative 2025」の目標達成に向け、持続的な成長と更なる企業価値の向上に努め「安心と信頼を創造する技術サービス企業」を目指し、事業を展開しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴う臨時警備の反動及びコロナ影響の長期化により売上高は47,830百万円（前年同期比6.2%減）となりました。利益面につきましては、営業利益2,924百万円（前年同期比27.2%減）、経常利益3,163百万円（前年同期比24.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,797百万円（前年同期比34.0%減）となりました。

セグメントごと及び業務別の業績は次のとおりであります。

(セキュリティ事業)

常駐警備部門につきましては、前年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴う臨時警備の反動などにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は23,878百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

機械警備部門につきましては、画像関連サービスが堅調に推移したものの、コロナ影響による警備業務の見直しなどにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は16,003百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

運輸警備部門につきましても、コロナ影響による警備業務の見直しなどにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,545百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

工事・機器販売部門につきましては、防犯カメラの販売を中心とした画像関連システムなどが堅調に推移したものの、新築物件の減少などにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,049百万円（前年同期比14.9%減）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間のセキュリティ事業セグメントの売上高は46,476百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益（営業利益）は2,589百万円（前年同期比30.1%減）となりました。

(ビル管理・不動産事業)

ビル管理・不動産事業につきましては、清掃業務や電気設備の保安業務等の建物総合管理サービス及び不動産賃貸を中心に事業を行っております。当第3四半期連結累計期間のビル管理・不動産事業セグメントの売上高は1,353百万円（前年同期比6.7%増）、セグメント利益（営業利益）は333百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,470百万円減少し、58,321百万円（前連結会計年度末比2.5%減）となりました。その主な内容は、未収警備料の減少717百万円、運輸警備用現金及び預金の減少711百万円などです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ2,539百万円減少し、23,819百万円（同9.6%減）となりました。その主な内容は、預り金の減少899百万円、長期借入金の減少792百万円、未払法人税等の減少376百万円などです。

(純資産)

純資産は、利益剰余金の増加1,040百万円などにより、前連結会計年度末に比べ1,069百万円増加し、34,501百万円（同3.2%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月期の連結業績予想につきましては、2022年4月12日に公表した連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

(1) 機械警備サービスに係る収益認識

機械警備サービスに係る機器設置工事について、従来は、役務提供完了時点において工事・機器販売として収益を認識しておりましたが、機械警備サービスの契約期間に応じて収益を認識する方法に変更しております。

(2) 営業協力に係る手数料等に係る会計処理

営業協力に係る手数料について、従来は、売上原価に計上しておりましたが、売上高から控除する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益及び利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る「顧客との契約から生じる収益」を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年2月28日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年11月30日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,558,041 | 13,585,720 |
| 運輸警備用現金及び預金 | 4,296,289 | 3,585,080 |
| 受取手形及び売掛金 | 920,985 | - |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | - | 715,088 |
| 未収警備料 | 7,276,057 | 6,558,293 |
| 立替金 | 2,121,045 | 2,091,881 |
| 貯蔵品 | 1,348,220 | 1,432,678 |
| その他 | 2,843,315 | 2,671,273 |
| 貸倒引当金 | △9,550 | △6,966 |
| 流動資産合計 | 31,354,405 | 30,633,050 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 9,193,823 | 8,997,744 |
| 減価償却累計額 | △5,407,577 | △5,479,644 |
| 建物及び構築物（純額） | 3,786,245 | 3,518,099 |
| 警報機器及び運搬具 | 21,158,335 | 21,287,554 |
| 減価償却累計額 | △15,201,721 | △15,724,543 |
| 警報機器及び運搬具（純額） | 5,956,613 | 5,563,010 |
| 土地 | 3,839,853 | 3,839,690 |
| その他 | 4,198,833 | 4,144,193 |
| 減価償却累計額 | △2,936,195 | △3,077,406 |
| その他（純額） | 1,262,638 | 1,066,786 |
| 有形固定資産合計 | 14,845,350 | 13,987,586 |
| 無形固定資産 | 1,301,801 | 1,188,520 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 9,861,021 | 9,897,786 |
| その他 | 2,469,913 | 2,647,742 |
| 貸倒引当金 | △40,349 | △32,949 |
| 投資その他の資産合計 | 12,290,585 | 12,512,579 |
| 固定資産合計 | 28,437,738 | 27,688,686 |
| 資産合計 | 59,792,143 | 58,321,737 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年2月28日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,005,119 | 1,722,103 |
| 短期借入金 | 2,982,005 | 2,924,002 |
| 1年内償還予定の社債 | 100,000 | - |
| 未払法人税等 | 1,148,127 | 771,948 |
| 前受警備料 | 319,608 | 481,721 |
| 預り金 | 5,798,706 | 4,899,047 |
| 賞与引当金 | 1,291,725 | 2,255,019 |
| 役員賞与引当金 | 80,500 | 43,050 |
| 資産除去債務 | - | 39,391 |
| その他 | 5,286,829 | 4,586,548 |
| 流動負債合計 | 19,012,622 | 17,722,833 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 100,000 | 100,000 |
| 長期借入金 | 2,686,702 | 1,893,853 |
| 退職給付に係る負債 | 327,754 | 354,122 |
| 株式給付引当金 | 49,545 | 64,530 |
| 資産除去債務 | 238,707 | 240,570 |
| その他 | 3,944,436 | 3,443,969 |
| 固定負債合計 | 7,347,145 | 6,097,045 |
| 負債合計 | 26,359,768 | 23,819,879 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,924,000 | 2,924,000 |
| 資本剰余金 | 3,006,170 | 2,995,595 |
| 利益剰余金 | 22,709,865 | 23,750,099 |
| 自己株式 | △362,340 | △362,858 |
| 株主資本合計 | 28,277,694 | 29,306,836 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,685,187 | 2,664,223 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 226,396 | 199,019 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,911,584 | 2,863,242 |
| 非支配株主持分 | 2,243,096 | 2,331,778 |
| 純資産合計 | 33,432,375 | 34,501,857 |
| 負債純資産合計 | 59,792,143 | 58,321,737 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 50,975,929 | 47,830,676 |
| 売上原価 | 39,609,470 | 37,363,919 |
| 売上総利益 | 11,366,459 | 10,466,757 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び手当 | 2,713,740 | 2,811,154 |
| 賞与引当金繰入額 | 608,977 | 603,548 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 46,763 | 43,050 |
| 退職給付費用 | 31,463 | 55,263 |
| 株式給付費用 | 14,316 | 14,985 |
| その他 | 3,937,210 | 4,014,617 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 7,352,472 | 7,542,617 |
| 営業利益 | 4,013,986 | 2,924,139 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 67 | 376 |
| 受取配当金 | 189,747 | 186,673 |
| 受取保険金 | 30,162 | 45,994 |
| その他 | 95,883 | 70,790 |
| 営業外収益合計 | 315,860 | 303,835 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 66,910 | 53,098 |
| 支払手数料 | 6,044 | 2,273 |
| その他 | 61,224 | 8,677 |
| 営業外費用合計 | 134,178 | 64,049 |
| 経常利益 | 4,195,668 | 3,163,925 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 61 | 39 |
| 投資有価証券売却益 | 235,281 | — |
| 段階取得に係る差益 | 5,434 | — |
| 特別利益合計 | 240,777 | 39 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 2,175 | 2,888 |
| 減損損失 | 48,266 | 147,309 |
| 投資有価証券評価損 | 5,115 | 1,212 |
| 特別損失合計 | 55,557 | 151,410 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,380,888 | 3,012,553 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,725,169 | 1,367,103 |
| 法人税等調整額 | △281,798 | △315,906 |
| 法人税等合計 | 1,443,371 | 1,051,196 |
| 四半期純利益 | 2,937,516 | 1,961,356 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 215,929 | 163,760 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,721,587 | 1,797,596 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 2,937,516 | 1,961,356 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,445,495 | △21,137 |
| 退職給付に係る調整額 | △51,031 | △27,194 |
| その他の包括利益合計 | △1,496,526 | △48,331 |
| 四半期包括利益 | 1,440,990 | 1,913,025 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,221,958 | 1,749,254 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 219,031 | 163,770 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-------------------|--------------|----------------|------------|-------------|---------------------------|
| | セキュリティ 事業 | ビル管理・ 不動産事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 49,707,540 | 1,268,389 | 50,975,929 | — | 50,975,929 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 14,433 | 377,890 | 392,324 | △392,324 | — |
| 計 | 49,721,974 | 1,646,279 | 51,368,254 | △392,324 | 50,975,929 |
| セグメント利益 | 3,705,704 | 307,248 | 4,012,953 | 1,033 | 4,013,986 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-------------------|--------------|----------------|------------|-------------|---------------------------|
| | セキュリティ 事業 | ビル管理・ 不動産事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 46,476,724 | 1,353,952 | 47,830,676 | — | 47,830,676 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 15,337 | 367,218 | 382,555 | △382,555 | — |
| 計 | 46,492,061 | 1,721,170 | 48,213,232 | △382,555 | 47,830,676 |
| セグメント利益 | 2,589,997 | 333,571 | 2,923,568 | 570 | 2,924,139 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

「セキュリティ事業」セグメントに係る有形固定資産について、48,266千円を減損損失として特別損失に計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

「セキュリティ事業」セグメントに係る有形固定資産について、147,309千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。

この変更による、各報告セグメントの利益に与える影響は軽微であります。